

平成28年1月25日(月)
平成27年度 森林環境教育(森林ESD)
活動報告会・意見交換会

NPO法人キッピーフレンズが行っている 環境体験学習について

兵庫県三田市
NPO法人キッピーフレンズ
一樹洋彦
(森林インストラクター)

NPO法人キッピーフレンズのご案内

- 1、兵庫県三田市にある「兵庫県立有馬富士公園」内に設置している「三田市有馬富士自然学習センター」の指定管理業務を主として活動している特定非営利活動法人のボランティア団体
- 2、活動内容
 - ①公共施設の管理運営(施設管理、来館者サービス等)
 - ②学習・体験とその支援(展示案内、各種イベント等)
 - ③環境保全・普及啓発(環境学習、自然案内、森林整備等)
 - ④情報発信(通信発行、HP作成等)
- 3、会員50名、**内環境学習チーム会員20名**
他に季節行事、展示室案内、クラフト、実験、登山、野鳥観察等のチーム有り
- 4、各種イベント年間開催数・・・約220件・・・折り紙から登山まで
- 5、**環境体験学習の受託件数・・・平成26年度13校、平成27年度9校**



活動のフィールド

兵庫県立有馬富士公園
面積420ha。都市公園。多くの面積が森林、一部が里山。歩道、施設等が良く整備。

写真は公園のシンボルの有馬富士(374m)

年間来園者数80万人

活動の拠点

三田市有馬富士自然学習センター、(展示室4、学習室、木工室、プレイルーム、展望テラス等、学習指導員が常駐)

年間来館者数11万人

環境体験学習とは

* 環境体験学習とは

兵庫県で平成19年度から県下の**全小学校3年生**を対象に野外で年間3日間行っている環境体験事業。

* 目的は

自然の中で命の繋がりを学ぶ、自然に対する畏敬の念、**命の大切さ**、美しさに感動する豊かな心を育むこと、さらに学校から離れて先生以外の地域の人材(専門家やボランティア)や働く人から直接の指導をえること。

* プログラム

森林(里山)・水辺(川、海、池)での自然観察、里山管理・農業・漁業体験等を学校毎に選んで行うことができる。

実施している環境体験学習のプログラム

標準的なプログラム

- * 一日の場合 AM:自然観察 PM:工作、拡大スクリーン等
* 半日の場合 自然観察



・自然觀察



・水辺の生き物調査



・森のお掃除



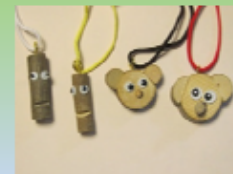
・班の木調査



・自然材料を使った工作



・拡大スクリーン



顕微鏡やルーペの映像を拡大してスクリーンで映す・
昆虫の顔や美しい小さな花の拡大映像を見て驚きの
声を上げています。

	ありまふじ公園の森探検シート 平成27年1月18日（金） 足尾市立東浦小学校 3年生 環境探検学習	
組	班	名前
① ママタの園には3以内以上の出入り口がありそれぞれがどんな役割がある？ 	② ママボウケリがどうしてこんな形をしているのか分る？、また、何に見えるか？ 	③ ヒツパムシを尻に抱鳴した虫はどんなかな？ ヒント：赤と黒もつづいていよう！
④ セサウムの葉っぱの裏面！！ この多くみんどの虫（1匹ずつ）は何も？ どんなだ～？	⑤ 今日、一番すごかったこと（びく／＼）したことはなんですか？ 	⑥ 篠原天流には、きこえる多くの自然音がいます。きこえているものを分る？、この音源は？（水虫にエサを食べさせている）と聞いてみるか分る？ どうしてかな？
⑦ エママタの木の皮から作る紙はなにに使われているのかな？ どうしてそれに使うのかな？ 	⑧ 葉っぱの絵を書こう 木には葉っぱがない葉（三日月葉）と針のような葉（針葉樹）の2種類があります。よく観察して書いてね。 → 葉の1種 → 針のような葉	

自然観察はこの探検シートを持たせ、観察ポイントで新しく発見したこと、驚いたこと等を簡単に記入させる。ふりかえりで一番すごいと思ったこと(びっくりしたこと)を記入させ、班長等が皆の前で発表する。

公園に設置されている環境体験学習に適している施設



スカイデッキ(高さ約5m)
このデッキは何のためにあるのかな？



キツネの模型の巣
どうして二つの出入り口があるのかな？



空中と地中の温度計・
空中と地中の温度になぜ差があるのかな？

環境体験学習の成果等

- ①有馬富士公園での環境体験学習は子ども達が**命の大切さ、繋がりを知り、自然を尊ぶ心を育んでいるもの**と考えています。
- ②自然の少ない伊丹市や尼崎市等の子ども達は公園の**自然と学校付近の自然との違い**を学んでいます。
- ③学校から離れ、初対面のスタッフから指導は**子供達に緊張感を与えている**ようですが、学校生活に無いもので喜ばれていると先生からお聞きしています。
- ④昆虫に対して恐怖感をもっている子供が、この学習で恐々ですが触ることが出来るようになった時のうれしい顔を見ると、**スタッフの喜び**を感じます。
- ⑤引率する先生や関係者にも改めて自然の面白さ、不思議さ等を知っていただく良い機会になっています。



環境体験学習の課題等

- ①自然・森林に係わる同レベル程度の知識・技術をスタッフが持つように研修会、実習等の充実を図らなければなりません。→森林インストラクター2名と自然観察指導員3名が指導者になっていますが。
- ②花の無い時期は花の写真や木の実の実物を見せてより高い興味を持たせるように案内の工夫が必要です。
- ③五感を使った学習内容を推進したいのですが最近、アレルギーを心配して木の実を食べさせないでほしいとの先生からの要請が多く残念です。
- ④学校との事前打ち合わせ・下見を確実に行之、特に子供のアレルギー体質や身障状況を把握する。



環境体験学習に大いに役に立っている一つの看板



カモのいない春～夏でもの環境体験学習にこの看板が大いに役に立っています。

*** どうしてかわいいカモにエサをあげてはいけないのでしょうか ?**

- ・野生動物の本来持つエサさがしが出来なくなるから
- ・人間が食べる美味しい餌を食べるとメタボになり北国に飛んで帰れなくなるから
- ・渡り鳥を学ぶ・夏鳥・ツバメ 冬鳥・カモ 留鳥(一年中いる鳥)・カラス、スズメ等

終りに

- 本活動報告はNPO法人キッピーフレンズが行っている環境体験学習の取組み状況を報告させていただきましたが、小学3年生に対して行っているこの学習は自然・森林学習を通じて命の大切さを学ぶと共に、**人間と自然、自然と社会の繋がり**を学び体験する機会になっており、森林ESDの視点に繋がっていると考えます。
- また、本日の他団体の活動報告や貴重な意見等をお聞きすることにより、今後の環境体験学習に森林ESDの考えを取り入れて活動が行えるように研鑽して参りたいと考えております。

これで報告を終了させていただきます。